

指摘3



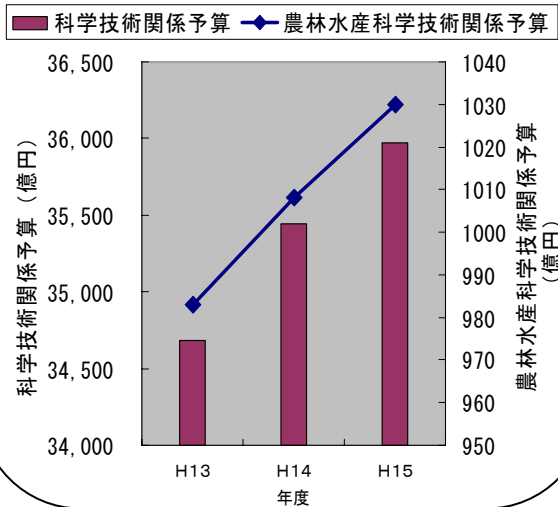
財政事情が厳しいから、
予算の2 ~ 3割削減等を
図るべき

科学技術は政府の重点推進分野

骨太の方針重点4分野

1. 教育・文化、**科学技術**、IT
2. 魅力ある都市・個性と工夫に満ちた地域社会
3. 公平で安心な高齢化社会・少子化対策
4. 循環型社会の構築・地球環境問題への対応

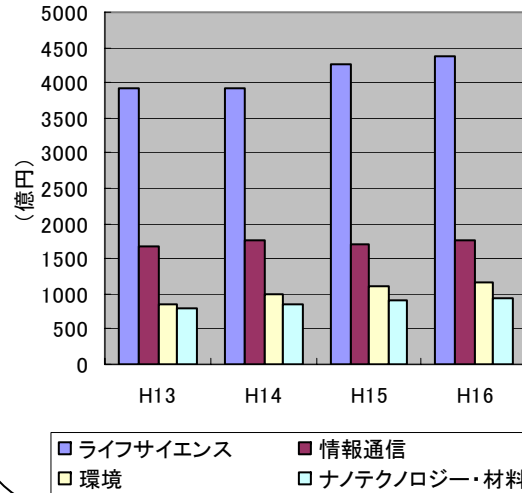
○農業研究開発予算の推移



科学技術基本計画重点4分野

1. **ライフサイエンス**
 2. **環境**
 3. 情報通信
 4. **ナノテクノロジー・材料**
- その他4分野 (**社会基盤**等)

○重点4分野の予算の推移



技術会議所管6法人

我が国の農業関係研究の中核機関として、科学技術の重点分野を担当

担当分野

- 機構－食料の安定供給
- 生物研－ポストゲノム研究
- 農環研－温暖化等環境対応
- 農工研－社会基盤
- 食総研－食品科学
- JIRCAS－途上地域の食料・環境科学

法人予算を大幅に削減すれば、科学技術の重点分野の推進に影響

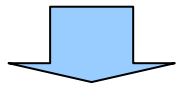
農政の推進には、農業研究開発独法による技術革新が不可欠

○産業売上高に対する民間の研究費割合は、全産業で3.06%(H14)であるのに対し、農林水産業では0.53%と非常に低くなっており、民間において十分な研究開発を行うことができない状況。

○農政の推進に不可欠な研究課題に対応すると同時に、競争的資金の獲得に積極的に取り組んでいる。

食料の安定的確保には農業生産現場に密着した技術開発が不可欠

大豆の自給率向上のため、大豆の品質と収量を向上



大豆300A研究センターを設立

○日本全国に大豆研究チームを配置し、各地域に合った品種と栽培法を開発して、「A」品質・収量300kg/10a以上の安定生産を目指す。



北陸重粘土壌での
耕耘+畝立栽培法

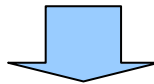
大豆研究チーム圃場における大豆収量例(H14年)

チーム名	収量(Kg/10a)
北海道	368
東北	342
関東	384
北陸	395
近中四	313
九州	350

全国平均収量153kg/10a

世界をリードする農業生物の生命科学研究を戦略的に推進

農業の生産性の飛躍的向上を目指して



ライフサイエンス分野
(ゲノム科学、
バイオインフォマティクス)

イネゲノム全塩基配列の概要を解読

小泉総理大臣が解読終了宣言
(2002.12.18)

世界をリードしてイネゲノムを解読



日本での解読記念式典

ブッシュ米国大統領からの祝辞

2004年12月完全解読終了予定

農業・生物系特定産業
技術研究機構の今後の
重要課題



○健全な食生活を支える質の高い農産物に関する研究開発

○農業の構造改革促進と持続的発展のための研究開発



農業生物資源研究所
の今後の重要課題

○農業生物に飛躍的な機能向上をもたらすための生命現象の解明

○生物機能の解明を支える基盤的研究の推進

激変する食料・農業政策への対応

新たな国民生活
の創造